

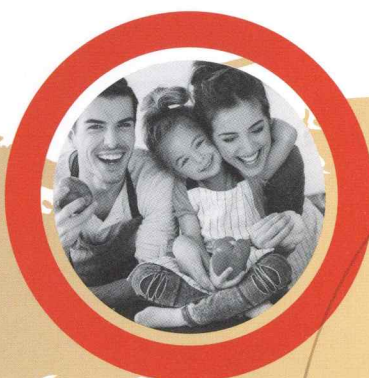
# COMPANY PROFILE 2018



 大鵬薬品工業株式会社

交付  
'18.8.08  
ホリアセンター

E



## 画期的な新薬を心待ちにする人びとの 勇気となり、力となるために。

病を克服するために薬に希望を託す患者さん、ご家族。  
患者さんのために最善の治療を模索する医療関係者。  
皆さんが病と闘う時、少しでもその力となり、勇気となれるように。

### 〈企業理念〉

**私たちは人びとの健康を高め  
満ち足りた笑顔あふれる  
社会づくりに貢献します。**

### 健康宣言

この企業理念を実現するために、  
社員一人一人が心身ともに健康で  
生き活きと自由闊達に働ける職場環境の整備に、  
組織全体で取り組むことを宣言します。

2017年2月

代表取締役社長 小林 将之

# Challenge!

## History of Challenges

大鵬薬品は、1963年に大塚グループの一員として創立されて以来、全社一丸となって、世界中の患者さんや消費者の皆さまに安心して使っていただける高品質な製品の提供と安全性情報の伝達に取り組んでまいりました。

弊社の医薬品事業の歴史を創立当時から顧みますと、まだ経口抗がん剤が汎用されていない時代にパイオニアとして経口テガフル製剤「フトラフル」を発売（1974年）し、その後、「効果を増強しながら安全性を高める」という課題を解決すべく研究開発を継続、1984年発売の「ユーエフティ」（テガフル・ウラシル配合剤）により、胃がん、乳がん、大腸がん、肺がんにおける術後補助化学療法のエビデンス<sup>※1</sup>を構築してまいりました。また、1999年発売の「ティーエスワン」（テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤）は、進行再発胃がんの標準治療、胃がんにおける術後補助化学療法<sup>※2</sup>の標準治療となりました。

さらに、2014年に新規作用機序を有する経口抗がん剤「ロンサーフ」（トリフルリジン・チピラシル塩酸塩）を世界に先駆けて日本で発売し、2015年には大鵬グループとして初めて米国での自社販売を開始。欧州においては、提携先の仏セルヴィエ社を通じて2016年に承認を取得し、順次販売国を拡大しています。このように大鵬薬品は、世界のがん化学療法に貢献できる医薬品開発にチャレンジを続ける一方、免疫・アレルギー、泌尿器領域においても新規性のある医薬品開発に精力的に取り組んでおり、患者さんのQOL<sup>※3</sup>を向上し、さらには根治につながる新薬を創造すべくチャレンジを続けています。また、コンシューマーヘルスケア事業においては、「チオビタ」シリーズ、「ソルマック」シリーズ、「ハルンケア」シリーズという愛情ブランドを育て上げてきました。今後も、消費者の皆さまに末永く愛していただけるユニークなブランドの創造と育成にチャレンジしてまいります。

※1 エビデンス：科学的根拠

※2 術後補助化学療法：手術後に、がんの再発や転移の危険性を減らす目的で行われる治療

※3 QOL：Quality of Life（生活の質）

## Spirit of Globalization

大鵬薬品は、世界の患者さんに製品をお届けできるよう、米国、アジア諸国に加え、欧州をはじめとするその他の地域でも、販売体制の構築に注力しています。さらに、日本のほか欧米、アジアに臨床開発の拠点を置き、数々のグローバル臨床試験を実施しています。今後も、研究部門から生み出される数々の化合物のグローバル同時開発に注力し、世界中の患者さんにいち早く新薬をお届けすることを目指してまいります。

弊社の事業展開において、一番重要なのが「人財」の確保、教育、活用です。ダイバーシティ推進に取り組み、グローバルに通用する人財の育成、国籍にとられない優秀な人財の採用を積極的に進めてまいります。

## Commitment to Compliance

大鵬薬品の企業理念「私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」のもとに、私たちは法令、行動規範およびその精神を順守し、一人一人が生命関連企業に従事する者として、コンプライアンスの徹底に努めます。優れた医薬品の開発・供給を通じて、世界の人びとの健康に貢献する価値ある存在であり続けられるよう、全社一丸となって業務を遂行してまいります。

代表取締役社長  
小林 将之  
Masayuki Kobayashi

# Global One Taiho

大鵬薬品では、2つの事業を通じて、  
人びとの健康と笑顔への貢献を目指しています。

医療用医薬品事業

コンシューマー  
ヘルスケア事業

世界の患者さんに画期的な新薬を届けるべく、  
研究開発、生産、マーケティングなどの機能がー丸となって取り組んでいます。  
特にがん領域においては、グローバルトップ10カンパニーを目指します。

## 研究開発

**新薬を心待ちにする人びとのために  
革新的で信頼できる薬剤をいち早く患者さんのもとへ。**

これまで培ってきた経験やキーオピニオンリーダーとの信頼関係を生かし、  
新薬の研究開発の質とスピードの向上に取り組んでいます。国内の研究開  
発ネットワークにとどまらず、欧米やアジアのアカデミア、関係会社とも連携  
を図り、独創的で誰からも信頼される新薬の研究開発に挑み続けています。

## 生産

**欧米などの国際的な水準を満たした生産体制で、  
安全で高品質な医薬品を供給。**

抗がん剤の生産においてこれまで培ってきたノウハウを生かし、欧米などの  
国際的な水準を満たした、業界をリードする万全な品質保証体制を確立し  
ています。また、部門間で情報を共有し、医療現場のニーズに素早く対応し  
ています。これからも患者さんにとっての最高品質を安定的に供給すると  
ともに、さらなる技術の向上に努めてまいります。

## マーケティング

**画期的な新薬と良質な情報を提供し、  
世界の医療に貢献を。**

人びとの健康と笑顔をサポートすべく、世界各国のネットワークを通じて、グ  
ローバルにマーケティングを展開しています。これからも、患者さん、ご家  
族、医療関係者など関連する全ての方々に、価値ある製品と情報を提供して  
まいります。

# 新薬を届けるために 研究開発における挑戦

大鵬薬品では、各専門分野の知識や経験を有する研究員、部署が連携を図りながら、その力を融合させて自社創薬を推進しています。また、創薬基盤技術の整備拡充を進めるとともに、国内外の研究施設と連携することで自社技術を補完し、研究開発のスピードを加速。

ほかにも、大塚グループの企業を含む他社との協業・提携を通じて、さらに高いレベルの創薬に挑戦しています。

さらに、オープンイノベーションファンドRemiges BioPharma Fund, LPへの出資や、米国子会社TAIHO VENTURES, LLCを通じて、国内外の有望なバイオベンチャー企業へ投資し、さらなる創薬力の強化を図っています。

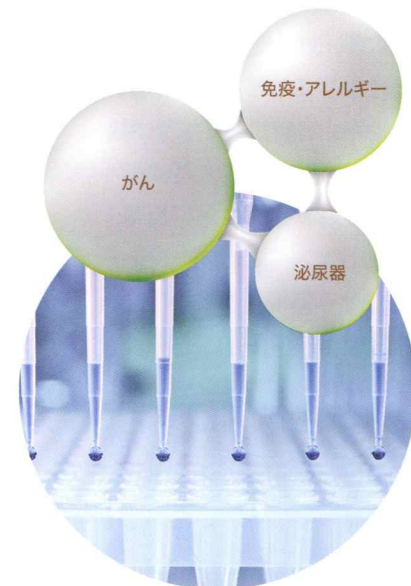
すべては世界の患者さんの健康と笑顔に貢献するために。これからは魅力ある自社オリジナル新薬の研究開発にチャレンジしていきます。

自社創薬  
(つくば研究所)

他社との  
協業・提携  
(大塚グループ含む)

創薬系ベンチャー  
への投資

## 3つの重点開発領域



### がん領域

胃がんを中心にさまざまながんに対するエビデンスを確立している「ティーエスワン」に続き、新しい作用機序を有する「ロンサーフ」を創製するなど、これまでの知見やノウハウを基に新しいタイプの抗がん剤の研究開発を行っています。また、多様化するがん治療に貢献できるよう、がんの増殖、生存、血管新生、薬剤耐性などに関与するタンパク質の機能を阻害する抗がん剤や、がん細胞における特異的な代謝を標的とした抗がん剤、さらには近年著しく発展しているがん免疫に関わる抗がん剤などの研究開発に積極的に取り組んでいます。

### 免疫・アレルギー領域

がん領域の研究で培った分子標的型創薬の経験や基盤技術を応用し、医療ニーズの高い自己免疫疾患などの難治性疾患病態メカニズムに着目した薬剤や、希少疾患にも応用可能な新しい作用機序を持つ薬剤の研究開発に取り組んでいます。

### 泌尿器領域

尿失禁・頻尿に対して改善作用を示す「ハップフォー」から得られた豊富な知見や経験を生かし、さまざまなタイプの尿失禁・排尿疾患の病態解明を進めてきました。これらを生かし、アンメットメディカルニーズに応える新しいタイプの治療薬の研究開発を進めています。

## 開発品進行状況

治験薬記号	剤形	予定される効能または効果、対象疾患名および症状名	開発地域	開発段階			
				フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請中
TAS-102	経口剤	結腸・直腸がん	アジア	進行中	進行中	進行中	進行中
		胃がん	日本・米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-118	経口剤	胃がん	日本・アジア	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-114	経口剤	非小細胞肺癌	日本・米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-115	経口剤	前立腺がん	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-116	経口剤	消化管間質腫瘍(GIST)	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
		固形がん	米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-117	経口剤	固形がん	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-119	経口剤	固形がん	米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-120	経口剤	固形がん	日本・米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-121	経口剤	固形がん	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS3681	経口剤	前立腺がん	米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS4464	注射剤	固形がん・血液がん	日本・米国・欧州	進行中	進行中	進行中	進行中
ET-743	注射剤	卵巣がん	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
Pro-NETU	注射剤	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-205	経口剤	デュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAC-302	経口剤	過活動膀胱を伴う排尿筋低活動	日本	進行中	進行中	進行中	進行中
TAS-303	経口剤	腹圧性尿失禁	日本	進行中	進行中	進行中	進行中

2017年12月31日現在

最新情報については、こちらをご覧ください。



# Close-up

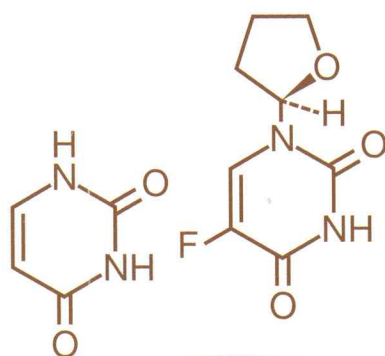
抗がん剤開発の歴史



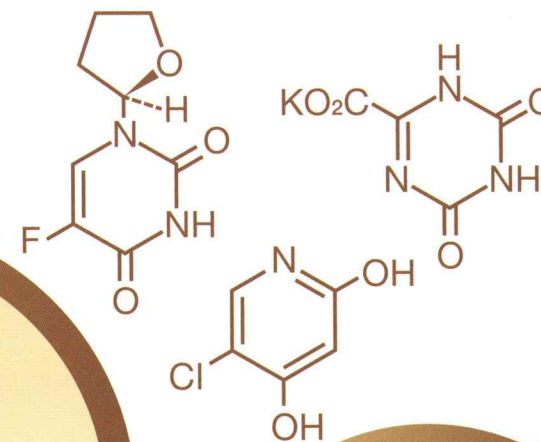
Since 1969



写真は発売当時のもの



写真は発売当時のもの



写真は発売当時のもの



写真は小型化変更品

1974年

「フトラフルカプセル200mg」と  
「フトラフル注400mg」発売

1984年

「ユーエフティ配合カプセルT100」  
発売

1999年

「ティーエスワン配合カプセルT20・T25」  
発売

2003年

「ユーゼル錠25mg」発売

## 大鵬薬品の抗がん剤の歴史は、ラトビア共和国での「フトラフル」との出会いから始まった

1969年、初代社長の小林幸雄は、当時急激に需要が増え始めた不定愁訴改善薬「パントクリン注」の商談で旧ソ連を訪れました。商談の傍ら、寸暇を惜しんで製薬関連の視察を行った小林は、モスクワのがん研究所である注射剤のアンブルを目にします。それは、抗がん剤の新薬5-フルオロウラシル(5-FU)の誘導体<sup>※1</sup>「フトラフル」でした。小林は直感で大きな可能性を感じ、その場で日本国内での臨床試験実施を決意しました。帰国後すぐに研究所内に「制がん班」を設け研究を開始。基礎研究において効果を確認した後、臨床試験へと移りました。しかし、最初の臨床成績報告会では携わった研究者たちから効果に対する否定的な報告が相次ぐなど満足のいく研究結果が得られませんでした。ただ、唯一乳がん患者に対する有効例の発表があり、その有効例にいち

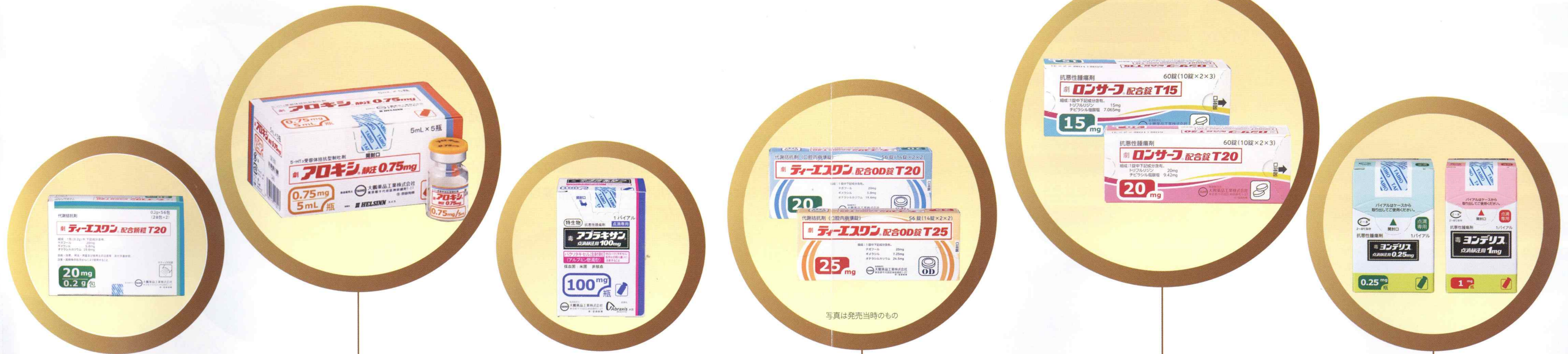
の望みを託し研究を継続。その結果、「フトラフル」は肝臓で分解され活性化することで5-FUへ変化すること、低濃度でも長時間がん細胞と接触することで十分な抗がん作用を発揮することが解明され、当時世界的に汎用されていなかった経口抗がん剤の開発へと大きく舵を切りました。その時、1972年4月、直感から切り拓いた可能性は現実へと確実に動き出しました。

## 小さな可能性の芽を結実させがん治療の概念を変える

「フトラフル」は、がん細胞の中に“偽のパーツ”を紛れ込ませて細胞分裂をできなくする代謝拮抗剤で、生体内で徐々に“偽のパーツ”の一つである5-FUに代謝され薬効を示す薬剤です。大鵬薬品では、「フトラフル」の長時間がん細胞に接触し効果を発揮するという特徴に着目し、経口投与できる抗がん剤として1974年に国内での販売を開始。「フトラフル」は、従来の抗がん剤とは異なり“経口で長期投与ができる”という特徴から外来治療を可能とし、後に“術後補助化学療法”の概念を定着させました。

## より高い効果を目指し、飽くなきチャレンジを続ける

それから10年後、「フトラフル」に“ウラシル”を配合することにより、5-FUの濃度をさらに長時間持続させることに成功し、1984年に発売したのが「ユーエフティ」です。「ユーエフティ」ではさまざまながん腫を対象とした臨床試験が実施され、特に術後補助化学療法において数多くのエビデンスが創出されました。臨床で得られたこれらのエビデンスをもとに、「ユーエフティ」は抗がん剤の主要な選択薬として使用されるようになりました。この「ユーエフティ」の成功体験から、さらに高い薬効を期待した研究が進められ、“ウラシル”よりも5-FUの濃度をより長時間持続させる“ギメラシル”と、消化管などへのダメージを抑える“オテラシルカリウム”を開発。「フトラフル」を主薬に、この2種類の新規化合物を配合した「ティーエスワン」が生まれました。「ティー



写真は発売当時のもの

2009年	2010年	2013年	2014年	2015年
「ティーエスワン配合顆粒 T20・T25」発売	「アロキシ静注0.75mg」発売 「アブラキサン点滴静注用100mg」発売	「ティーエスワン配合OD錠T20・T25」発売 「イーフェンバッカル錠」発売	「ロンサーフ配合錠T15・T20」発売	「ヨンデリス点滴静注用 0.25mg・1mg」発売

抗がん剤開発の歴史

### 薬を大切に育て 新たな可能性を創り出す

「ユーエフティ」については、2004年に肺がんにおける術後補助化学療法データの、世界的に権威のある医学雑誌 The New England Journal of Medicine (NEJM) に掲載されました。また、その他にも胃がん・大腸がん・乳がんなどにおける術後補助化学療法のデータが次々と公表されています。「ユーエフティ」同様、「ティーエスワン」もさまざまながん腫においてその有効性が示され、NEJMをはじめとする世界の医学雑誌で紹介されています。「ティーエスワン」は胃がんを中心に、大腸がん・肺がん・膵がん・乳がん・頭頸部がんなどにおいてエビデンスが構築されており、各種ガイドラインにも掲載され、がん治療に貢献しています。今なお多くの医療・研究機関により、優れた臨床成績が数々の医学誌で報告されるなど、がん治療の進化とともに「ティーエスワン」の可能性は広がっています。

### がん治療の今を支え、 そして未来を切り拓く

近年では、より一層患者さんのQOLを意識した、がんのトータルケアを目指した研究開発も行っています。がん患者さんが服用しやすい剤形を開発するとともに、がん化学療法に伴う悪心・嘔吐を抑制する「アロキシ」やがんの痛み（突出痛）に対する治療薬「イーフェン」を発売するなど、がん治療にとどまらず、患者さんのQOLの向上にも貢献できるよう努めています。2009年に旧万有製薬のつくば研究所を買収して、社内の創薬機能をつくばエリアに集約。最先端の技術を駆使した新しいタイプの抗がん剤の開発に積極的に取り組んでいます。また、世界70カ国以上で承認されている抗がん剤「アブラキサン」を導入。国内で開発<sup>※2</sup>を進め、2010年に乳がんの治療薬として発売し、その後、胃がん、非小細胞肺がんおよび治癒切除不能な膵がんの効能追加の承認を取得しています。

### 日本発の新薬を 世界の患者さんのために

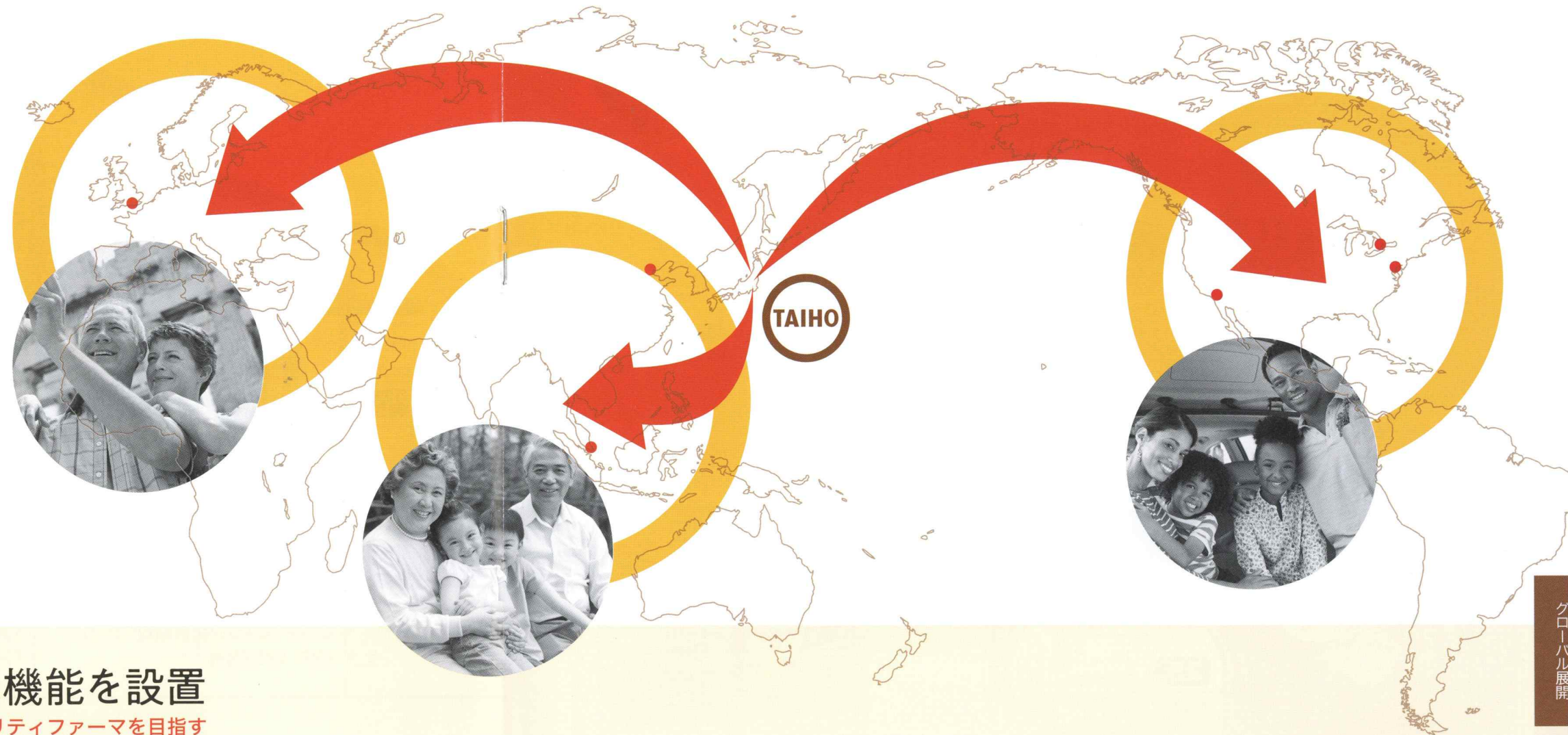
日本国内における胃がんの標準治療薬となった「ティーエスワン」は、アジアに加え、欧州においても2011年に承認後販売しています。抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」は、進行・再発の結腸・直腸がんの治療薬として2014年に世界に先駆けて国内で発売。翌年には、米国においても販売を開始しました。本剤は、大鵬が米国で初めて承認を取得した製品です。欧州においては、2016年に欧州委員会 (EC) より承認を取得し、順次販売を開始しています。大鵬薬品は、半世紀にわたる抗がん剤開発の歴史の中で、がん化学療法に関する多くのエビデンスを確立してきました。その豊富な経験を力に変え、これからも日本をはじめ世界のがん患者さんに貢献できる新薬を開発してまいります。

※1 誘導体: ある化合物の分子の一部が変化してきた化合物。 ※2: 大鵬薬品は、日本における開発販売の権利を有しています。

# Global Specialty Pharma

世界の患者さんの期待に応えるために

大鵬薬品は、日本の経口抗がん剤のパイオニアとして、これまで国内随一ともいえるエビデンスを創出し、より良い治療法の確立に貢献してきました。2000年代の初頭からは、グローバルな研究・開発を進め、米国における自社販売体制の実現やその他地域における販売網の拡大など、世界の患者さんの笑顔のために、さらなるグローバル化を積極的に推進しています。



## 国内外の大鵬グループ 統括機能を設置

世界中から信頼される機動的なグローバル・スペシャリティファーマを目指す

国・地域・機能の違いを鳥瞰し、グローバルオペレーション全体の最適化を行う

GCCO (Global Chief Corporate Officer) およびGCMO (Global Chief Medical Officer) を任命しています。

東京本社にて、GCCOの下に設置された部門は国内外の大鵬グループ全体でコーポレート業務の最適化を図り、GCMOの下に設置された部門は、全体最適の観点からグローバルな視点でポートフォリオ戦略を立案しています。

### TAIHO PHARMA EUROPE, LTD.

2009年、欧州の開発拠点としてTAIHO PHARMA EUROPE, LTD.をイギリスに設立しました。日米の研究開発の専門チームと緊密に連携しながら、欧州における抗がん剤の販売承認取得を目指して、臨床開発プログラムの管理と薬事関連業務のサポートを行っています。

欧州では、進行性胃がんの治療薬として2011年に承認された「ティーエスワン」(欧州での製品名「Teysono」)を、提携先のノルディック社(オランダ)を通じて販売しています。

また、進行・再発の結腸直腸がん治療薬「ロンサーフ」(欧州での製品名「LONSURF」)について、2015年にセルヴィエ社(フランス)と、欧州・その他地域(北米・アジア以外)における開発および商業化に関するライセンス契約を締結しました。本剤は2016年に欧州委員会(EC)より承認を取得後、セルヴィエ社を通じて販売国を拡大しています。

### TAIHO PHARMA SINGAPORE PTE. LTD.

2011年に東南アジアにおける開発・マーケティングの拠点としてTAIHO PHARMA SINGAPORE PTE. LTD.をシンガポールに設立しました。抗がん剤「ティーエスワン」(現地での製品名「TS-ONE」)、「ユーエフティ」、「フトラフル」を自販あるいは提携先を通じて販売しています。

「現地スタッフの手で、現地の人びとのために」をモットーに、東南アジアのがん専門医や医療関係者とよりよい信頼関係を構築しながら、各国において抗がん剤の許可申請・販売を行うことで、大鵬グループにおける「東南アジア医療のハブ」としての役割を担っています。

### 大鵬薬品信息咨询(北京)有限公司

2008年に中国における開発・マーケティングの拠点として大鵬薬品信息咨询(北京)有限公司を設立しました。大鵬薬品が研究開発した抗がん剤の中国における許可取得、そして中国のがん専門医に対する情報提供活動を行っています。

2009年には第1号の製品として「ティーエスワン」(中国での製品名「愛斯万」)を発売し、事業展開を推進しています。

### TAIHO ONCOLOGY, INC.

2002年にグローバル開発拠点として、TAIHO PHARMA U.S.A., INC.(現TAIHO ONCOLOGY, INC.)を米国プリンストンに設立しました。厳選された専門家チームが、日本の大鵬薬品の社員と協力しながら、欧米の医療専門家および医療専門団体とともに、がん治療に貢献できる新薬のグローバル開発を進めています。

その中で、2015年に米国FDAより、大鵬としては北米で初めての製品として「ロンサーフ」(米国での製品名「LONSURF」)が承認を取得。以降、同社が本剤を販売しています。

### TAIHO PHARMA CANADA, INC.

2016年、カナダにおける医薬品事業の拠点としてTAIHO PHARMA CANADA, INC.を設立しました。2018年、カナダ保健省より「ロンサーフ」(カナダでの製品名「LONSURF」)が承認を取得。以降、同社がカナダで本剤を販売しています。

### TAIHO VENTURES, LLC

2016年、米国カリフォルニア州にバイオベンチャーへの出資を行うコーポレートベンチャーキャピタルTAIHO VENTURES, LLCを設立しました。主にがん領域において、革新的な新薬の研究開発や創薬基盤技術の開発を行っている国内外の有望なバイオベンチャーへの投資を行うとともに、大鵬薬品がこれまで経口抗がん剤のパイオニアとして培ってきたリソースを活用し、ベンチャー企業の発展を支援しています。

大鵬薬品はTAIHO VENTURES, LLCを通じて、有望なベンチャー企業との提携機会を探り、開発パイプラインの拡充や革新的な創薬基盤技術の取得を目指しています。



# Main Products

主な製品一覧

## 医療用医薬品

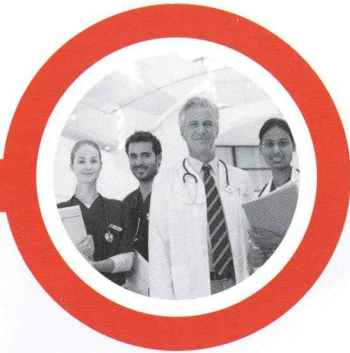
抗悪性腫瘍剤  
ロンサーフ®



抗悪性腫瘍剤(代謝拮抗剤)  
ティーエスワン®



抗悪性腫瘍剤(代謝拮抗剤)  
ユーエフティ®



その他の製品については、こちらをご覧ください。



アレルギー性疾患治療剤  
ビラノア®



抗悪性腫瘍剤(特定生物由来製品)  
アブラキサン®



5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤  
アロキシ®



## コンシューマーヘルスケア製品

栄養ドリンク  
チオビタ® シリーズ



胃腸内服液  
ソルマック® シリーズ



大鵬薬品の工場



徳島工場  
錠剤、カプセル剤、顆粒剤、注射剤、ドリンク剤などさまざまな剤形の医薬品、医薬部外品を製造しています。



北島工場(徳島県)  
「ティーエスワン配合OD錠」「ロンサーフ配合錠」を製造しています。大鵬薬品の抗がん剤のグローバル生産拠点です。



岡山工場  
100mLのチオビタドリンクシリーズを製造しています。



埼玉工場  
原薬(「ティーエスワン」「ユーエフティ」「ロンサーフ」「ユーゼル」などの主成分)を製造しています。



犬山工場(愛知県)  
生薬原料を製造しています。

主な製品一覧

# Corporate Social Responsibility

大鵬薬品は、大塚グループのCSRビジョンのもと、生命関連企業としての知識・経験などを生かし、社内外でさまざまな取り組みを行っています。

大塚グループのCSRについては、こちらをご覧ください。



## 健康への取り組み

「疾病の治癒」と「健康の増進」の2つの視点から、革新的な製品づくりと情報の提供を進めています。

## 環境への取り組み

「大塚グループ環境方針」のもと、当社の環境方針を定め、環境目標の達成に取り組んでいます。

## 社会・地域貢献活動

大鵬薬品は、社会や地域とのつながりを重視し、さまざまな活動を行っています。

### がん・健康に関連する15団体への寄付

2017年に創立55年目を迎え、社員参加型CSR活動として周年記念イベントを実施しました。55周年限定パッケージの「チオビタ・ドリンク」を社内販売し、社員は購入したチオビタを日頃お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて贈りました。その売上げ金全額と、マッチングギフト\*により総額5,500万円を「がんに関連する団体」と「健康に関連する団体」の計15団体に5年間にわたり計5回寄付します。

支援する団体は、会社があらかじめ選定した15団体の中から各社員が選択できるようにしました。寄付金は各団体の今後の活動に役立てていただきます。

\*マッチングギフト：社会福祉や災害支援などのために、社員からの募金寄付に会社が一定額を上乗せして寄付する制度



55周年限定パッケージ

大塚グループのCSR  
5つの分野



間伐体験

### 「とくしま協働の森づくり事業」への参加

徳島工場では、2010年度から毎年、徳島県と（公社）徳島森林づくり推進機構との間において「とくしま協働の森づくり事業」パートナーシップ協定を締結し、県内の森林育成事業に協賛しています。この協定に基づいて、間伐などにより森林を整備・保全することで、森林によるCO<sub>2</sub>吸収量が増加し、地球温暖化対策につながります。また、協賛に加え社員とその家族も間伐や植栽体験に参加することで、とくしま協働の森づくり事業を支援しています。

## ダイバーシティ推進

社員を「人財」として捉え、ダイバーシティ推進の一環として、社員一人一人が生き生きと働くことができるようさまざまな取り組みを行っています。



「女性活躍推進ワーキンググループ」発足に際しデザインしたロゴ。「Women」という文字の中に「男性（青：Men）」と女性（赤：Women）が共に活躍し、大鵬の未来を創造する」という意味を込めています。



すくすく保育園



### がん患者就労支援

抗がん剤を扱う企業として、がんやその他の病気に罹っても、治療しながら働き続けられる職場、また、さまざまな背景をもつ人が働きやすい職場を目指し、人事部の「がん患者就労支援チーム」と産業看護職が中心となり、制度面の充実、就労サポーターの育成、相談しやすい環境の整備、社内外への啓発活動を行っています。仕事と治療の両立を図るために利用できる制度としては有給休暇(全日、半日)のほか、積み立て有休(保存有休)、在宅勤務制度などがあります。また、がん罹患者の休業期間延長、再雇用制度(カムバックパス制度)など、治療に専念し状況に合わせた働き方ができる制度も充実しています。がんやその他の病気を早期発見し、早期治療につなげるために、人間ドック受診の費用を会社が一部負担するなど、社員の健康維持を会社がサポートしています。

## 仕事と出産育児の両立支援

大鵬薬品では、在宅勤務制度を導入するほか、「プラスdeハッピーホリデー（有給休暇取得推進日）」、「セルフケアデー（定時に帰宅することで、心身の疲労回復・ストレス発散・自己啓発・家族と過ごすなどのセルフケアにつなげる日）」を設定し、全ての社員のライフワークバランスの向上に努めてきました。また、仕事と子育ての両立を支援するために、法定を上回る制度を整備し、男女問わず多くの社員が利用しています。そして、産業カウンセラーやキャリアコンサルタントの有資格者によるキャリア相談室では、社員が自ら考え、成長していけるような支援を心掛けています。今後も、社員一人一人が働きやすく、ライフステージの各段階に応じて多様な働き方で活躍できる職場を目指します。また、子育て中の社員が安心して働ける環境を提供するため、つくば（茨城県）に事業所内保育所「すくすく保育園」を開設しています。緑豊かな環境のもと、安心安全を第一に園児の自主性と興味を尊重した保育を行っています。一時保育や病児保育、延長保育などにも対応できる体制を整えており、女性のキャリア継続と、男性の積極的な育児参加を応援しています。



仕事と介護の両立支援セミナー

## 仕事と介護の両立支援

介護に関わるようになって離職せず、仕事が続けられるよう、法定を上回る介護休業期間、休業中の社会保険料の会社負担など、制度面での充実を図っています。介護が必要になった際に利用できる制度や相談先などについてまとめたハンドブックが、イントラネットで見られるようになっています。また定期的に「仕事と介護の両立支援セミナー」を開催し、介護に関する情報を提供すると同時に、社員への啓発、社員の意識の把握に努めています。

大鵬薬品のCSRについては、こちらをご覧ください。



# Corporate Data



会社名：大鵬薬品工業株式会社  
TAIHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

設立：1963年(昭和38年)6月1日

資本金：2億円

代表者：代表取締役社長 小林 将之

従業員数：2,410名(2017年12月31日現在)

売上高：1,304億円(2017年12月期)

純利益：103億円(2017年12月期)

事業所：本社/東京

支店/医薬15支店

コンシューマーヘルスケア7支店

出張所/全国53カ所

工場/全国5カ所

研究所/徳島、つくば(茨城県)

本店住所：東京都千代田区神田錦町1-27  
TEL 03(3294)4527

本社所在地：東京都千代田区内神田1-14-10  
PMO内神田ビル2階~9階

代表取締役社長 小林 将之

常務取締役 橋本 信之

常務取締役 宇津木 照洋

常務取締役 塚本 剛

常務取締役 岡田 泰典

常勤監査役 山下 広喜

監査役 辻 征二

監査役 中島 喜勝

2018年3月末現在



## 財務ハイライト

百万円

	2014.3	2014.12*	2015.12	2016.12	2017.12
売上高	¥125,823	¥91,398	¥134,309	¥150,406	¥130,446
営業利益	9,842	6,577	19,335	38,496	14,050
純利益	7,235	5,300	14,834	28,065	10,376
研究開発費	35,273	26,785	34,250	31,911	38,443
売上高研究開発費率	28.0%	29.3%	25.5%	21.2%	29.5%
総資産	¥360,756	¥363,405	¥381,453	¥398,603	¥391,757
純資産	332,766	332,507	346,176	366,311	363,835
従業員数(人)	2,527	2,554	2,477	2,436	2,410

\*決算期の変更に伴い、2014年度は9ヵ月決算

数字で見る  
大鵬薬品

年間売上高

約**1,300**億円

研究開発費率

対売上高**29.5%**

従業員

約**2,400**名

チオピタドリンクシリーズ

約**1.7億本**を年間販売

がん領域の取組

**半世紀**

がん関連製品

売上の**75%**

2017年12月期(単体)

## 領域別売上比率(2017年度)



# Group Companies

グループ力を結集して、より高品質な医薬品づくりを

## TAIHO 岡山大鵬薬品株式会社

社名：岡山大鵬薬品株式会社  
 設立：1992年8月1日  
 代表者：代表取締役社長 仁木 達也  
 事業内容：医薬品、医薬部外品、医療機器、医療用具、  
 雑貨などの研究開発および製造・販売  
 本社・工場：岡山県備前市久々井字沖1775-1  
 Tel:0869-64-1111  
 Fax:0869-64-1130



## TAIHO PHARMA SINGAPORE PTE. LTD.

社名：TAIHO PHARMA SINGAPORE PTE. LTD.  
 設立：2011年8月8日  
 代表者：Managing Director 西村 吉雅  
 事業内容：医薬品の輸出入および販売  
 本社：390 Havelock Road #06-07, King's Centre,  
 Singapore 169662  
 Tel:+65-6887-5104  
 Fax:+65-6887-3253



## TAIHO ONCOLOGY, INC.

社名：TAIHO ONCOLOGY, INC.  
 設立：2002年8月8日  
 代表者：President & CEO Timothy Whitten  
 事業内容：抗がん剤の臨床開発と販売  
 本社：101 Carnegie Center, Suite 101,  
 Princeton, New Jersey 08540, USA  
 Tel:+1-609-750-5300  
 Fax:+1-609-750-7450



## TAIHO VENTURES, LLC

社名：TAIHO VENTURES, LLC  
 設立：2016年4月15日  
 代表者：President 浅沼 栄  
 事業内容：ベンチャーキャピタル事業  
 本社：2420 Sand Hill Rd, Suite 203,  
 Menlo Park, CA 94025, USA  
 Tel:+1-650-656-9640  
 Fax:+1-650-926-9495



## 大鵬药品信息咨询(北京)有限公司

社名：大鵬药品信息咨询(北京)有限公司  
 設立：2008年8月8日  
 代表者：総経理 関信吾  
 事業内容：医薬品の情報提供活動および開発業務  
 本社：中華人民共和国北京市朝陽区光華路7号  
 漢威大厦 9階9A3单元 100004  
 Tel:+86-5971-4220  
 Fax:+86-5971-4221



## TAIHO PHARMA CANADA, INC.

社名：TAIHO PHARMA CANADA, INC.  
 設立：2016年12月13日  
 代表者：General Manager Ross Glover  
 事業内容：抗がん剤の販売  
 本社：2010 Winston Park Drive, Suite 503, Oakville,  
 Ontario L6H 5R7, Canada  
 Tel:+1-905-901-0525  
 Fax:+1-905-829-0788



## TAIHO PHARMA EUROPE, LTD.

社名：TAIHO PHARMA EUROPE, LTD.  
 設立：2009年2月11日  
 代表者：Director Timothy Whitten  
 事業内容：抗がん剤の臨床開発  
 本社：1 Furzeground Way, Stockley Park, Uxbridge,  
 UB11 1BD UK  
 Tel:+44 (0)208 622 3294

### 大塚グループ企業理念

Otsuka-people creating new products  
 for better health worldwide

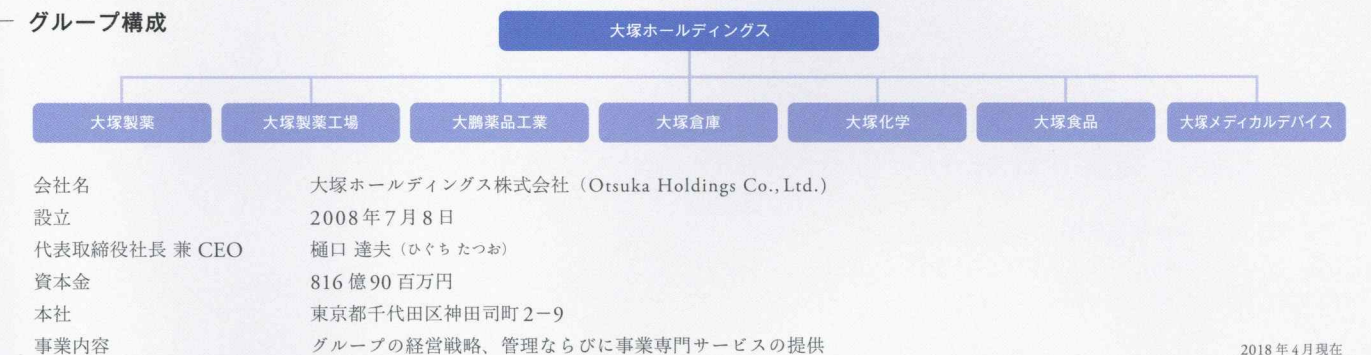
世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する



### 概要

大塚グループは、1921年に創業し、世界の人々の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ\*1 関連事業」の2本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界28カ国・地域、183社で46,000人\*2の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。\*1.ニュートラシューティカルズ：Nutraceuticals = nutrition (栄養) + pharmaceuticals (医薬品) \*2.2017年12月末現在

### グループ構成



大塚ホールディングス株式会社の詳細はこちら ▶ <https://www.otsuka.com/jp/>  
 CSR活動はこちら ▶ [https://www.otsuka.com/jp/csr/hd\\_activity/](https://www.otsuka.com/jp/csr/hd_activity/)

大鵬薬品の採用情報については、こちらをご覧ください。



 大鵬薬品工業株式会社

〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27  
TEL 03-3294-4527 FAX 03-3233-4057  
<https://www.taiho.co.jp/>

